



宮平 隆央 (MIYAHIRA, Takao)

沖縄キリスト教短期大学 地域こども保育学科 准教授

【プロフィール】

<p>取得学位、 大学・機関、取得年</p>	<p>修士(社会学) 琉球大学、2001年</p>	
<p>専門分野</p>	<p>子育て支援制度、自治体福祉行政、社会調査法、社会学</p>	
<p>研究分野</p>	<p>沖縄におけるひとり親家庭の生活実態、子育て支援施策、など</p>	
<p>研究職歴等</p>	<p>○研究職歴(業務経歴)</p> <p>糸満市企画部平和・男女共同参画推進室 臨時職員(企画・調査担当) (1998.10～1999.3)</p> <p>(有)沖縄地域工学研究所 研究員 (2001.10～2004.9)</p> <p>(有)沖縄ライフプラン総合研究所 主任研究員 (2004.10～2007.8)</p> <p>(財)雇用開発推進機構 調査研究部 主任研究員 (2007.9～2011.3)</p> <p>(一財)沖縄県公衆衛生協会 主任研究員 (2011.4～2018.3)</p> <p>沖縄キリスト教短期大学 講師 (2018.4～2023.3)</p> <p>同 准教授 (2023.4.～現在)</p> <p>○その他研究歴</p> <p>沖縄国際大学沖縄経済環境研究所 特別研究員 (2010.4～現在)</p> <p>○教育職歴</p> <p>※2025年度</p> <p>沖縄国際大学 非常勤講師(担当科目:社会調査の企画と設計)</p> <p>※終了</p> <p>沖縄国際大学 非常勤講師 (担当科目:社会調査法Ⅰ・Ⅱ、社会統計学Ⅰ・Ⅱ)</p> <p>沖縄大学 非常勤講師(担当科目:社会調査)</p> <p>沖縄女子短期大学 非常勤講師(担当科目:地域福祉)</p> <p>沖縄リハビリテーション福祉学院 非常勤講師(担当科目:地域福祉論)</p>	
<p>担当科目</p>	<p>2025年度前期:社会福祉、子ども家庭支援論※、子ども家庭福祉※、社会的養護Ⅰ、保育実習Ⅲ(児童館)、保育実習指導Ⅲ(児童館)</p> <p>2025年度後期:保育実習Ⅰ(施設)、保育実習指導Ⅰ(施設)、地域子育て支援実習、社会的養護Ⅱ</p> <p>※後期にも開講</p> <p>過去の担当科目:フレッシュマン・セミナー、保育実習指導Ⅰ(保育所)</p>	



【研究活動業績】

<p>研究業績(著書)</p>	<p>『事例で楽しく学ぶ 子ども家庭福祉』(共著、芝野松次郎＝編集代表／新川泰弘、榎本祐子＝編集)中央法規出版、2025 『社会福祉の内容と課題』(共著、井村圭壯・鎌田綱編著)勁草書房、2024 『コロナとアカデミア』(共著、茂木謙之介・大嶋えり子・小泉勇人 編著)、雷音学術出版、2022 『遠隔でつくる人文社会学知 —2020 年度前期の授業実践報告—』(共著、大嶋えり子・小泉勇人・茂木謙之介編著)、雷音学術出版、2020</p>
<p>研究業績(論文等)</p>	<p>○論文 ・照屋建太・糸洲理子・宮平隆央「実習園へ行ったアンケート調査から検討する代替教育実習の取組課題」『沖縄キリスト教短期大学紀要』第 51 号、P73-82、2022 ・糸洲理子・照屋建太・宮平隆央「代替教育実習に関する今後の課題 —学生のアンケート調査の結果から—」『沖縄キリスト教短期大学紀要』第 51 号、P83-92、2022 ・宮平隆央・糸洲理子・照屋建太「代替保育実習 I (施設)の検討について」『沖縄キリスト教短期大学保育科論集』第 3 号、2022 ・宮平隆央・糸洲理子・照屋建太「保育実習における学生の学習と生活の実態について」沖縄キリスト教短期大学紀要 50 号:P63-72、2021 ・宮平隆央・糸洲理子・照屋建太「保育実習における学生の学習と生活の実態について(1)ー施設実習指導 I についてー」『沖縄キリスト教短期大学保育科論集』第 2 号、P45-55、2020 ・糸洲理子・宮平隆央・照屋建太「保育実習における学生の学習と生活の実態について(2)ー保育所実習指導 I についてー」『沖縄キリスト教短期大学保育科論集』第 2 号、P57-66、2020 ・「離島におけるひとり親の生活実態に関する一考察～石垣市ひとり親家庭自立促進計画を読む～」沖縄国際大学 沖縄経済環境研究所『経済環境研究』第 9 号、P61-71、2020 ・「沖縄におけるひとり親家庭の生活構造に関する試論 ～島嶼性の観点から～」沖縄国際大学 沖縄経済環境研究所 『経済環境研究』第 7 号、P47-59、2018 ・「沖縄の＜学力問題＞をめぐる言説」(修士学位論文)、琉球大学、2001 ○研究ノート ・「新型コロナウイルス流行下の大学生の生活に関する一考察 —沖縄県内の大学生の生活と意識—」『沖縄キリスト教短期大学紀要』第 51 号、P121-125、2022 ・「＜気になる保護者＞への日常の保育を通じた支援」『沖縄キリスト教短期大学紀要』第 49 号、P155-162、2020 ・「平成 27 年 国勢調査に見る沖縄県の母子世帯の概況～既存統計を見なおす～」『沖縄キリスト教短期大学紀要』第 48 号、P131-145、沖縄キリスト教短期大学、2019 ・「沖縄の若年者失業に関する一考察 ～＜沖縄県雇用構造特性基本調査＞を手がかりに～」沖縄国際大学 沖縄経済環境研究所 『経済環境研究』第 7 号、</p>



	<p>P46-62、2011</p> <p>○書評</p> <p>・岸政彦・打越正行・上原健太郎・上間陽子『地元を生きる 沖縄敵共同性の社会学』ナカニシヤ出版、2020</p>
<p>研究業績 (調査報告・行政計画等)</p>	<p>○主担当者として関与した委託調査、行政計画等、職務著作物</p> <p>・『宮古島市子ども子育て支援事業計画』、2013</p> <p>・『南城市地域福祉計画・地域福祉活動計画』、2013</p> <p>・『沖縄県雇用構造特性基本調査報告書』2010</p> <p>※平成 21 年度 沖縄振興総合調査</p> <p>委託元: 内閣府沖縄総合事務局</p> <p>受託者: 協同組合 沖縄産業計画</p> <p>調査協力: 財団法人 雇用開発推進機構 ※筆者在籍機関</p> <p>ほか</p> <p>○自主研究・調査報告(発行名義: (財)雇用開発推進機構 調査研究部)</p> <p>・『エンパクト 若年者のキャリア形成・就労支援の拡充に向けた提言 ~若者を「一人前」に育てる沖縄へ~』、2012</p> <p>・『介護分野における雇用創出のあり方に関する調査研究』、2012</p> <p>・『エンパクト 沖縄経済雇用レポート 沖縄の経済と雇用の動き』、2011</p> <p>ほか</p>
<p>研究業績 (学会発表等)</p>	<p>・宮平隆夫・糸洲理子・照屋建太「代替保育実習Ⅰ(施設)の検討」第 5 回日本保育者養成教育学会(PC121, p85)、東京都(Web 開催)、2021</p> <p>・糸洲理子・宮平隆夫・照屋建太「代替保育実習Ⅰ・Ⅱ(保育所)の検討」第 5 回日本保育者養成教育学会(PC122, p86)、東京都(Web 開催)、2021</p> <p>・宮平隆夫・糸洲理子・照屋建太「保育実習における連携した指導について(1) - 施設実習指導Ⅰの概況 -」第 4 回日本保育者養成教育学会(PC211, p172)、広島県、2020</p> <p>・糸洲理子・宮平隆夫・照屋建太「保育実習における連携した指導について(2) - 保育所実習指導Ⅰの概況 -」第 4 回日本保育者養成教育学会(PC213, p174)、広島県、2020</p>
<p>社会活動等</p>	<p>沖縄県社会福祉審議会児童福祉専門分科会 委員</p> <p>糸満市男女共同参画会議 委員</p> <p>社会福祉法人 南星福祉会 理事</p> <p>一般財団法人 沖縄県公衆衛生協会 評議員</p> <p>※現職のみ記載</p>
<p>所属学会</p>	<p>日本社会学会、日本保育者養成教育学会、日本保育学会</p>

一言	<p>「人生たかが 2 万 5 千日」</p> <p>一日一日を豊かにするのも、貧しくするのも自分次第。失敗を恐れて行動しないより、行動して失敗したほうが、得るものがあるはずです。迷ったときは、寄り道・道草・一休みもあり。ゆるゆるとでも学び続けることで、皆さんの日々が、実りあるものになることを願っています。</p>
----	--